

平成 29 年度

# 事業報告

社会福祉  
法人 十和田市社会福祉協議会

# 目 次

## 本会の組織

1 会長・副会長・理事	1
2 監 事	1
3 評 議 員	1
4 職 員 名 簿	2

## 会務の運営

1 理 事 会	3
2 評 議 員 会	4
3 監 査 会	4
4 法人会員募集実行委員会	4
5 社会福祉大会表彰選考委員会	4

## 1 環境づくりの推進

(1) ふれあい相談所事業	5
(2) 広報・啓発事業	5
(3) 生活福祉資金貸付事業	7
(4) たすけあい資金貸付事業	8
(5) 日常生活用具貸出事業	8
(6) 福祉安心電話サービス事業	9
(7) 給食サービス事業	10
(8) 日常生活自立支援事業	10
(9) 成年後見事業	10
(10) 福祉サービス苦情解決第三者委員設置事業	11
(11) フードバンクシステム構築事業	11

## 2 地域づくりの推進

(1) 一人暮らし高齢者ふれあい事業	12
(2) 夏休み子ども寺子屋事業	12
(3) 高齢者健康体力維持支援事業	13
(4) ふれあい・いきいきサロン事業	13
(5) 地域福祉ほのぼの交流事業	13
(6) ゆめ色フェスティバル事業	14
(7) 手話を学ぶ機会の提供事業	15
(8) 十和田市社会福祉大会事業	15
(9) あんしんネットワーク構成員の集い事業	16

## 3 人づくりの推進

(1) 福祉教育推進事業	17
(2) ほんわかハート展事業	17
(3) 中学生ボランティアスクール事業	18
(4) 中高生福祉サミット事業	19
(5) 福祉教育インストラクター養成派遣事業	19

(6) お話しボランティア派遣事業 .....	19
(7) ボランティア・市民活動事業 .....	19
(8) 介護支援ボランティア事業 .....	21
4 協力・連携・協働の強化	
(1) 市民生委員児童員協議会との連携協働 .....	23
(2) 市地域包括支援センターとの連携協働 .....	23
(3) 関係行政との連携協働 .....	23
5 福祉サービス利用者等の個人情報の保護	
6 歳末たすけあい運動	
7 組織基盤の強化	
(1) 事務執行における内部けん制体制 .....	24
(2) 多様な参画による会員組織 .....	24
(3) 役員体制の強化 .....	24
(4) 機能的・効果的な事務局組織 .....	24
(5) 安定的・持続的な財源確保 .....	24
(6) 財務規律の強化と運営の状況の公表 .....	24
(7) 地域福祉活動計画の進行管理 .....	25
(8) 経費の縮減と事務処理の効率化 .....	25
(9) 事業評価の実施 .....	25

# 本 会 の 組 織

平成30年3月31日現在

## 1 会長・副会長・理事（15名）

会 長	江 渡 恵 美		
副 会 長	小 川 洋 平		
副 会 長	洞 内 末 吉		
副 会 長	太 田 代志郎		
常務理事	佐々木 令 子		
理 事	野 月 一 博	中野渡 勇 治	古 館 實
	古 川 あ き	国 分 隆 子	吉 田 壯 一
	立 崎 享 一	竹 達 幸 雄	日野口 敏 章
	大 竹 正 美		

## 2 監 事（3名）

高 野 洋 三      櫻 田 努      佐 藤 弘 人

## 3 評 議 員（39名）

立 崎 弘	織 川 貴 司	角 田 ヨシ子	木 津 寛
赤 石 政 義	石 田 美津子	張 摩 博 子	佐々木 一 吉
荒 井 容 子	角 濱 京 子	岩 田 秀 子	山 本 孝 司
宮 本 範 道	中野渡 福 美	野 月 誠	櫻 田 一 雅
佐 賀 康 夫	山 田 誠 一	小笠原 豊 重	坂 本 秀 美
漆 畑 貴美男	小 林 千 恵	杉 本 喜和子	白 山 廣 美
下川原 和 男	金 村 金 作	鈴 木 鉄 男	後 藤 智 保
和 田 原	外 山 忠 男	目 時 孝 子	橋 場 妙 子
森 平 直 樹	中河原 めぐみ	小 関 幸 一	織 川 徳 子
小 野 節 子	長 畑 清 二	北 館 祐 子	

#### 4 職員名簿(19名)

##### 【事務局】

事務局長 佐々木 令子 (契約担当者 兼 会計責任者)  
事務局次長 福田 延幸 (出納責任者)

##### 【総務管理係】

係長 田中 伸子 (会計職員)  
主査 原田 章弘  
臨時職員 川岸 恵菜

##### 【地域福祉係】

係長 福田 延幸  
主任主査 中野渡 信哉  
主任主査 上川原 王子  
主任主査 藤田 智哉  
主査 浦田 諭  
パートタイマー 下川原 貴子  
パートタイマー 氣田 望美  
パートタイマー 千葉 あやの  
日常生活自立支援 小松 眞知子 甲地 久美子 佐々木 早苗  
事業生活支援員 外山 久美子 太田 千鶴子 田中 光子  
氣田 望美

##### 【成年後見センター】

所長 佐々木 令子  
主幹 中野渡 信哉  
専門員 上川原 王子 藤田 智哉 浦田 諭  
原田 章弘 氣田 望美

##### 【災害ボランティアセンター】

所長 佐々木 令子  
主幹 中野渡 信哉  
コーディネーター 藤田 智哉

##### 【苦情解決窓口】

責任者 佐々木 令子  
担当者 中野渡 信哉

## 会 務 の 運 営

### 1 理 事 会

開催日	会 場	出席者	議 案 等
第1回 5月18日(木)	市民交流プラザ 多目的研修室2	理事11名 監事3名	<報告> 1 会長及び常務理事の業務執行状況 <決議事項> 1 平成28年度事業報告並びに収支決算 2 平成29年度予算の補正 3 たすけあい資金貸付金の一部欠損処分 4 諸規程の改正 5 車輛購入契約 6 評議員候補者の推薦 7 定時評議員会開催(案)
第2回 6月2日(金)	市民交流プラザ 多目的研修室2	理事15名 監事3名	<決議事項> 1 正副会長及び常務理事の選定
第3回 8月16日(水)	みなし決議	理事15名 監事3名	<決議事項> 1 平成29年度予算の補正 2 第2回評議員会(みなし決議)開催
第4回 11月7日(火)	みなし決議	理事15名 監事3名	<決議事項> 1 第3回評議員会開催(案)
第5回 12月20日(水)	サン・ロイヤル とわだ 2階 会議室	理事12名 監事2名	<報告> 1 会長及び常務理事の業務執行状況 <決議事項> 1 平成29年度予算の補正 2 平成29年度事業計画の変更 3 定款改正 4 臨時職員等取扱規程改正
第6回 2月13日(火)	みなし決議	理事15名 監事2名	<決議事項> 1 車輛購入契約の締結 2 第4回評議員会開催(案)
第7回 3月27日(月)	市民交流プラザ 多目的研修室2	理事14名 監事2名	<決議事項> 1 平成30年度事業計画並びに収支予算 2 平成29年度予算の補正 3 定款細則改正 4 事務局並びに処務規程改正 5 給与規程改正 6 育児・介護休業等に関する規程改正 7 経理規程改正 8 社会福祉大会表彰規程 9 情報公開規程制定

## 2 評 議 員 会

開催日	会 場	出席者	議 案 等
定時評議員会 6月2日(金)	市民交流プラザ 多目的研修室2	評議員27名 監事2名	<決議事項> 1 平成28年度事業報告並びに収支決算 2 平成29年度予算の補正 3 たすけあい資金貸付金の一部欠損処分 4 理事及び監事の選任
第2回 8月24日(木)	みなし決議	評議員39名	<決議事項> 1 平成29年度予算の補正
第3回 12月20日(水)	サン・ロイヤル とわだ 2階 会議室	評議員32名 監事2名	<決議事項> 1 平成29年度予算の補正 2 平成29年度事業計画の変更 3 定款改正
第4回 3月27日(火)	市民交流プラザ 多目的研修室2	評議員30名 監事2名	<決議事項> 1 平成30年度事業計画並びに収支予算 2 監事の選任

## 3 監 査 会

開催日	会 場	監査員	監 査 内 容
5月10日(水)	市民交流プラザ 多目的研修室3	監事3名	平成28年度決算に伴う各会計の経理状況並びに業務の執行状況
10月31日(火)	市民交流プラザ 多目的研修室1	監事3名	平成29年度上半期の各会計の経理状況
2月20日(火)	市民交流プラザ 多目的研修室1	監事2名	平成29年度下半期の各会計の経理状況

## 4 法人会員募集実行委員会

開催日	会 場	出席者	協 議 内 容
6月26日(月)	市民交流プラザ 多目的研修室2	16名	平成29年度法人会員の募集

## 5 社会福祉大会表彰選考委員会

開催日	会 場	出席者	協 議 内 容
8月25日(金)	市民交流プラザ 多目的研修室3	7名	第13回十和田市社会福祉大会被表彰者の選考・審査

# 1 環境づくりの推進

誰もが安心して福祉サービスを利用できる環境づくりを目指し、総合的な福祉サービスの提供体制を整備し、人にやさしい環境づくりを推進するため、次の事業を実施した。

## (1) ふれあい相談所事業

ふれあい相談所を開設し、地域住民の日常生活上のあらゆる相談に助言を行い、心配ごとの改善・解決により福祉の増進を図った。また、相談員の技法向上と情報共有を目的に、県社協主催の相談技法研修会へ相談員5名を派遣した。

※事業状況は、事業報告附属明細書「ふれあい相談所事業実施状況」参照のこと。

## (2) 広報、啓発事業

市民に対し、地域福祉推進の意識を啓発するとともに、本会が取り組んでいる活動や実施事業について周知を図った。また、社会福祉に関する情報を提供することを目的に広報紙を年4回発行した。

### ①広報紙「社協だより」の発行

1	号及び発行日	第110号 平成29年 5月発行
	規 格	A4版カラー刷 8頁
	発行部数	26,700部

[掲載内容]

- ◆ボランティアポイント！?
- ◆平成29年度社協事業計画・資金収支予算 ・環境づくりの推進 ・地域づくりの推進  
・人づくりの推進 ・協力・連携・協働の強化 ・福祉サービス利用者の個人情報の保護  
・歳末たすけあい運動 ・組織基盤の強化
- ◆開催行事の紹介  
中学生福祉サミット、あんしんネットワーク構成員の集い、福祉教育インストラクター養成研修、ほのぼの交流事業研修会
- ◆十和田いきいき介護ボランティアポイント事業
- ◆十和田市社会福祉協議会地域福祉活動計画（概要版）
- ◆平成29年度法人会員のご紹介
- ◆まちかど情報局 救急車の適正利用にご協力を！
- ◆《善意の窓》 平成28年12月1日から平成29年3月31日までの金品寄附者
- ◆～安心のなかでボランティアを～ " ボランティア活動保険 "



2	号及び発行日	第111号 平成29年 8月発行
	規 格	A4版カラー刷 6頁
	発行部数	26,700部

〔掲載内容〕

- ◆福祉教育インストラクターは伝えています！
- ◆平成28年度事業報告 ◆平成28年度決算報告 ◆会長あいさつ ◆役員紹介
- ◆ボランティアセンター始動中！ 気軽にふれあうボランティア活動！  
災害に備え総合防災訓練実施
- ◆～福祉の作品コンクール～ "ほんわかハート展"
- ◆《善意の窓》 平成29年4月1日から平成29年6月30日までの金品寄附者
- ◆まちかど情報局 熱中症にご注意を！

3	号及び発行日	第112号（共同募金合同特集号） 平成29年10月発行
	規 格	A4版カラー刷 12頁
	発行部数	27,400部

〔掲載内容〕

- ◆～夏休み寺子屋 2地区で開催～ 笑顔あふれる夏休み！
- ◆第13回十和田市社会福祉大会 記念講演「笑い 健康のもと」
- ◆高齢の方、障がいのある方のための事業 ～住民が支え合い、誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせるとわだ～
  - ・ほのぼの交流事業 ・お話しボランティア事業 ・給食サービス事業
  - ・日常生活自立支援事業 ・成年後見事業 ・日常生活用具貸出事業 ・手話講習会・手話奉仕員養成講座事業 ・高齢者健康体力維持支援事業
  - ・ふれあい・いきいきサロン事業 ・福祉安心電話サービス事業 ・一人暮らし高齢者ふれあい交流事業 ・ゆめ色フェスティバル事業 ・苦情解決第三者委員会設置事業
- ◆次世代を担う子どもたちのための事業
  - ・ほんわかハート展事業 ・中学校ボランティアスクール事業 ・福祉教育・ボランティア学習事業 ・夏休み寺子屋事業 ・中学生福祉サミット事業
- ◆各種資金の貸付事業
  - ・たすけあい資金貸付事業 ・生活福祉資金貸付事業
- ◆社会を背負う成人のための事業
  - ・十和田市社会福祉大会事業 ・住民説明会の開催
  - ・福祉教育インストラクター養成研修事業 ・十和田いきいき介護ボランティアポイント事業 ・収集ボランティア推進活動事業 ・ボランティア登録・斡旋事業
  - ・ボランティア団体助成事業 ・ボランティア活動保険加入者助成事業 ・ふれあい相談所事業
- ◆フォトアルバム 「中学生ボランティアスクール開催」「夏休み寺子屋開催」
- ◆～私達のまちの幸せのために～ "赤い羽根共同募金"
- ◆ありがとうございました平成28年度赤い羽根共同募金の状況

4	号及び発行日	第113号 平成30年 1月発行
	規 格	A4版カラー刷 8頁
	発行部数	26,700部

〔掲載内容〕

- ◆住民が支え合い、誰もがその人らしく 健やかで安心して暮らせる とわだ
- ◆民生委員制度創設100周年 記念  
"第13回十和田市社会福祉大会"開催 ・各受賞者表彰式
- ◆新たな時代！新たな幕開け！ゆめ色フェスティバル
- ◆災害時相互応援協定締結 ◆生活福祉資金“教育支援資金”のご紹介
- ◆～平成29年度福祉の作品コンクール～ "ほんわかハート展" 入賞者紹介
- ◆《善意の窓》 平成29年7月1日から平成29年11月30日までの金品寄附者
- ◆まちかど情報局 住宅用火災警報器

## ②ホームページによる情報提供

事業の紹介や社協だより、行事案内やボランティア募集などを十和田市社会福祉協議会のホームページに掲載し情報提供を行った。

ホームページ：<http://towada-shakyo.or.jp> E-mail：[welfare@towada-shakyo.or.jp](mailto:welfare@towada-shakyo.or.jp)

## (3) 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者、高齢者及び失業者世帯を対象に、資金の貸付と必要な援助指導により、世帯の経済的自立と生活意欲の助長を促し、生活の安定と向上を図ることを目的に民生委員・児童委員及び関係行政機関等の協力を得ながら援護対策に取り組んだ。

※事業状況は、事業報告附属明細書「生活福祉資金貸付事業実施状況」参照のこと。

### ①償還促進への取り組みと不良債権の調査及び整理

生活福祉資金の貸付原資となるべき償還金について、県社協と共同で償還促進運動を年1回継続実施するとともに、不良債権の整理を行った。

実施日 平成29年9月27日(水)

対象 41件(面接2件)

債務承認書提出 6件

支払猶予申請 0件

### ②民生委員児童委員協議会との協力体制の強化及び事務指導

償還促進を図るため、民生委員個人毎へ償還状況を毎月送付するとともに、協力体制の強化を図るため、情報共有と事業説明を行った。

③要保護世帯の長期生活支援資金への対応

市福祉事務所からの通知を受け、申請者の不動産鑑定等を2件行った。

④生活福祉資金貸付調査委員会

期 日 平成30年3月14日(水)

会 場 市民交流プラザ

出席者 6名

協議事項 事業実施状況報告

(4) たすけあい資金貸付事業

不時の出費等により最低生活を脅かされる恐れのある低所得世帯に対し、必要に応じた応急援護資金の貸付を行った。また、長期間滞納が続く借受人及び連帯保証人宅の夜間督促訪問を行った。

※事業状況は、事業報告附属明細書「たすけあい資金貸付事業実施状況」参照のこと。

①たすけあい資金貸付事業運営委員会の開催

期 日 平成30年3月14日(水)

会 場 市民交流プラザ

出席者 6名

協議事項 支払免除者の協議検討及び事業実施状況報告

②夜間督促(長期滞納者宅)訪問の実施

〔第1回〕

期 日 平成29年6月29日(木)

訪問数 借受人15名 連帯保証人8名

〔第2回〕

期 日 平成30年3月28日(水)

訪問数 借受人17名 連帯保証人15名

(5) 日常生活用具貸出事業

高齢者や障がい者の日常生活の利便を図るため、介護用ベッド、車イス等の貸出を行った。

〔貸出状況〕

( ) 内の数字は、短期貸出数

年度	介護用ベッド		車 イ ス		シルバーカー	
	貸出数	返却数	貸出数	返却数	貸出数	返却数
平成29年度	24 (0)	24	5 (8)	8	2	0
累 計	707 (35)	534	451 (136)	344	8	0

## (6) 福祉安心電話サービス事業

住民参加による見守りネットワークと緊急対応を兼ね備え、自宅の電話機を緊急装置とする福祉安心電話サービス事業は、加入設置台数が46台、協力員数は136名となった。

### ①ふれあい電話サービスの実施

ふれあい相談員から設置者へ安否・健康状態等の確認電話、回数全778回。

#### 〔ふれあい電話の事例〕

・平成29年10月16日 ふれあい相談員から電話

お元気ですか。

— 昨日は体調がすぐれず一日寝ていたら今日は良くなりました。—

最近寒いですから風邪をひかないように気をつけてくださいね。何かあったらいつでもボタンを押してくださいね。また電話させていただきます。

— いつもありがとうございます。—

### ②福祉安心電話の緊急通報等着信状況

着信状況は、緊急通報6件、火災通報0件、停電通報12件、相談3件、電池切れ0件、バッテリー切れ1件、故障1件の計23件。このうち協力員等の要請10件、救急車の要請5件、消防車の要請0件という状況である。

#### 〔緊急通報事例〕

・平成30年1月6日 8:36 緊急通報を受信センターが確認。

受信センターが本人へ連絡すると、頭部から左の身体がしびれているとの訴えあり。

受信センターが救急車を要請し、病院に搬送されることとなった。同時に協力員へ連絡し、協力員が病院へ駆けつけることとなった。

検査の結果、異常はなく点滴をして自宅に帰ることができた。

## (7) 給食サービス事業

夕食を自宅まで届ける毎日型（年末年始を除く）の本サービスを、「配送 16:00～18:00」・「普通食@550」・「おかずのみ食@500」とし、調理及び配送の2つの業務を社会福祉法人 八甲田会 八甲荘に委託し実施した。（平成30年1月31日事業廃止）

※事業状況は、事業報告附属明細書「給食サービス事業実施状況」参照のこと。

## (8) 日常生活自立支援事業

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対する福祉サービスの利用援助と日常的金銭管理、書類の預かり等を行った。また、基幹的社協として、管内3町社協、民生委員・児童委員、関係機関・団体及び金融機関等と連携を図りながら、広域的な事業推進を図った。

※事業状況は、事業報告附属明細書「日常生活自立支援事業実施状況」参照のこと。

### ①「あっぷるハートとわだ」の運営

日常生活自立支援事業は、平成12年6月に施行された社会福祉法において、福祉サービス利用援助事業として位置づけられており、この事業は、管内とする野辺地町・七戸町・東北町を含める広域的な展開となるため「あっぷるハートとわだ」の愛称を用いている。事業の延べ利用者数は、管内で96名（解約者69名）、十和田市では279名（解約者184名）となった。

### ②支援員の資質向上への取組

直接サービス活動にあたる生活支援員13名を委嘱配置するとともに、資質向上を図るため研修会へ派遣した。

期 日	平成29年6月16日（金）
会 場	青森市 県民福祉プラザ
参加者	4名

## (9) 成年後見事業

平成17年度に体制を整備した成年後見事業において、これまで受任した人数は、延べ14名（終結7名）となっている。また、この後見事務の公正性・透明性を図るため、運営委員会を位置づけし、必要に応じ開催した。

※事業状況は、事業報告附属明細書「成年後見事業実施状況」参照のこと。

### ①〔第1回運営委員会〕

期 日	平成30年1月24日（水）
会 場	市民交流プラザ
出席者	11名
協議事項	後見事務報告

②〔第2回運営委員会〕

期 日 平成30年2月19日(月)

会 場 市民交流プラザ

出席者 12名

協議事項 新規利用者受任

(10) 福祉サービス苦情解決第三者委員設置事業

各種福祉サービスの適正な運営を確保し、利用者等からの苦情を適切に解決するため、苦情解決窓口を設置した。

①福祉サービス利用者等の個人情報の保護

福祉サービス利用者等の個人の権利利益を保護するため、個人情報の管理体制を講じるとともに、職員の個人情報保護に関する意識啓発に努めた。

②第三者委員の設置

第三者委員の人数 5名

第三者委員の構成 監事・評議員・地域代表者・学識経験者

(11) フードバンクシステム構築事業

県内食品企業と県社協が協働しているフードバンクシステム(食品ロス(包装破損・期限切れ間近等))を利用し、市内で困窮する方々へ食糧支援を行った。また、本市の団体からも食品提供いただき困窮者支援とした。

〔システム活用状況〕

企業(食品業者)	提供食品	支援件数
コープフードバンク	レトルトご飯等 計27品目	全31件
フードバンクだいち	精米、野菜等	・たすけあい資金貸付相談 … 15件
立正佼成会	精米60kg、レトルト食品等	・生活福祉資金相談 … 3件
その他寄贈物品	カセットコンロ1台(ガスボンベ3本)災害時用食品(レスキューパック)	・生活福祉課 … 1件
		・包括支援センター … 3件
		・在宅介護支援センター … 3件
		・日常生活自立支援事業相談 … 4件
		・保健センター … 1件
		・ふれあいいいききサロン … 1件

※提供企業の意向により、食品の一部を「夏休み寺子屋事業」にも活用した。

## 2 地域づくりの推進

共に支え合う地域づくりを目指し、市民一人ひとりが福祉を理解し、みんなで支え合い、誰もが安全・安心に暮らすことができる地域づくりを推進するため、次の事業を実施した。

### (1) 一人暮らし高齢者ふれあい事業

民生委員児童委員協議会との連携により、地域で生活する一人暮らし高齢者（70歳以上）を対象に、会食・レクリエーション等を提供し、相互の交流と孤独感の解消を図った。

期 日 平成29年10月11日（水）

会 場 サン・ロイヤルとわだ

参加者 461名

### (2) 夏休み子ども寺子屋事業 ～児童の見守りある居場所づくり～

地域のあたたかな見守りの目のある居場所において、児童の健全育成を支援する目的で、地域の集会場を活用し夏休み期間、遊び・学び・伝えの場づくりを行った。

#### ①東小学校区 寺子屋

第1回打合せ会 平成29年4月25日（火） 会 場 東ふれあい会館

第2回打合せ会 平成29年6月 8日（木） 会 場 東ふれあい会館

夏休み寺子屋 平成29年7月24日（月）～26日（水） / 7月31日（月）  
～8月2日（水） / 8月7日（月）～9日（水） 全9日間

会 場 東ふれあい会館

参加者 延べ277名（児童194名 ボランティア83名）

#### ②南小学校区 寺子屋

第1回打合せ会 平成29年5月23日（火） 会 場 市民交流プラザ

第2回打合せ会 平成29年6月 6日（火） 会 場 市民交流プラザ

第3回打合せ会 平成29年7月19日（水） 会 場 市民交流プラザ

夏休み寺子屋 平成29年7月24日（月）～26日（水） / 7月31日（月）  
～8月2日（水） / 8月7日（月）～9日（水） 全9日間

会 場 東小稲会館

参加者 延べ336名（児童263名 ボランティア73名）



### (3) 高齢者健康体力維持支援事業

市老人クラブ連合会と連携し、高齢者の健康寿命を延ばすよう、心身の健康・体力維持及び増進を図る目的で、ふれあいのあるスポーツ交流会（軽スポーツ大会・グラウンドゴルフ大会等）を延べ3回開催し、延べ763名の参加となった。



### (4) ふれあい・いきいきサロン事業

一人暮らし高齢者等で家に閉じこもりがち、話し相手がいない、寂しいという不安や悩みのある方々に、集会場等の身近な場所で、仲間づくり、出会いづくりの場を提供するサロン事業を実施し、地域住民相互の健康増進、交流を促進した。

#### 〔開催の状況〕

全24地区 / 延べ407回 / 延べ5,762名
---------------------------



#### 〔3年指定地区・団体〕

- ①ローズマリークラブ（13回/143名）②西十四番町集いの会（27回/309名）  
③楽笑会（12回/222名）④北野さくら会（12回/161名）⑤べっぴん会（12回/200名）  
⑥高清水さくらサロン（12回/143名）⑦いこいの広場ふきのとう（22回/107名）

#### 〔単年度指定地区・団体〕

- ①リフレッシュクラブ（35回/458名）②しらかばいきいき教室（12回/157名）  
③太田川原ふれあい・いきいきサロン（13回/213名）④みんなで集まる楽しいふれあいデー（11回/161名）  
⑤小沢口ふれあい・いきいきサロン（11回/89名）⑥滝沢長寿クラブ（11回/116名）  
⑦東小稲町内会さわやか教室（12回/367名）⑧相坂上えがおサロン会（12回/286名）  
⑨下切田いきいきサロン（13回/194名）⑩ひまわりふれあいサロン（24回/410名）  
⑪カトレアサロン（27回/237名）⑫いきいきサロンオアシス（9回/71名）  
⑬なごみ会（51回/779名）⑭このゆびと～まれ（12回/399名）  
⑮日ノ出町熟年会（20回/204名）⑯ふれあい教室（12回/212名）  
⑰咲楽会（12回/124名）

### (5) 地域福祉ほのぼの交流事業

高齢者や障がい者等が、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会構築のため、地域生活における見守り機能の充実を図った。事業の実施にあたり、地域福祉活動の主体である住民をほのぼの交流協力員と位置づけ、訪問等による見守り活動を促進した。

#### ①ほのぼの交流協力員配置

訪問活動のできる住民ボランティアをほのぼの交流協力員とし、グループ編成で活



動した。協力員は、本年度末で24名、対象者18世帯。地域住民が互いに見守り支え合う活動をとおして、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域福祉社会の基盤形成を促進した。

### ②ほのぼの交流協力員研修会開催

研修会により、地域における見守り活動の重要性と活動における大切な視点を再確認した。また、講話により福祉情報の共有を図った。

期 日 平成30年3月20日(火)  
会 場 市民交流プラザ  
参加者 8名  
講 話 認知症を正しく知ろう ～認知症サポーター研修～



### ③ボランティア活動促進のための助成

ほのぼの交流協力員へボランティア保険加入料を助成することにより、住民ボランティア活動の一層の促進を図った。

## (6) ゆめ色フェスティバル事業

障がいの有無・年齢・性別を問わず市民が一堂に会し、芸能発表やレクリエーション等のふれあいをとおして、障がい者の社会参加の促進と福祉の向上を図ることを目的に実施した。なお、県社協の事業助成金を一部活用した。

### ①第1回打合せ会

期 日 平成29年6月19日(月)  
会 場 市民交流プラザ  
出席者 19名(13団体)



### ②第2回打合せ会

期 日 平成29年10月30日(月)  
会 場 市民交流プラザ  
出席者 17名(14団体)



### ③ゆめ色フェスティバル2018(第32回大会)

期 日 平成29年11月18日(土)  
会 場 サン・ロイヤルとわだ  
参加者 約460名



### ④第3回打合せ会

期 日 平成29年11月27日(月)  
会 場 市民交流プラザ  
出席者 16名(12団体)



## (7) 手話を学ぶ機会の提供事業

手話の普及と聴覚障がいの理解を深めるため、講習会〔昼の部〕並びに、市の委託による手話奉仕員養成講座〔夜の部〕を、市ろうあ協会との連携により実施した。

### ①手話講習会〔昼の部〕

期 日 平成29年5月17日(水)～9月27日(水)  
毎週水曜日 全10回  
会 場 市民交流プラザ  
参加者 延べ87名



### ②手話奉仕員養成講座〔夜の部〕

期 日 平成29年6月7日(水)～11月29日(水)  
毎週水曜日 全25回  
会 場 市民交流プラザ  
参加者 延べ208名



## (8) 十和田市社会福祉大会事業

社会福祉関係者及び一般市民の参加を得て、社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰・感謝する式典を行うとともに、社会福祉への理解と関心を高めるため、講演を交えた十和田市社会福祉大会を開催した。

### ①関係者打合せ会

期 日 平成29年6月16日(木)  
会 場 市民交流プラザ 多目的研修室3  
内 容 開催内容について  
出席者 5名



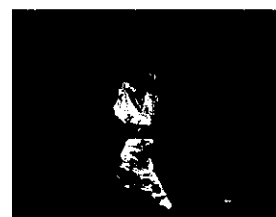
### ②大会表彰選考委員会

期 日 平成29年8月25日(金)  
会 場 市民交流プラザ 多目的研修室3  
内 容 表彰・感謝等の審査  
出席者 12名



### ③第13回十和田市社会福祉大会

期 日 平成29年10月25日(水)  
会 場 十和田市民文化センター  
参加者 約600名  
記念講演 笑い 健康のもと  
講 師 タレント 黒石八郎 氏



## 福祉の作品コンクール最優秀作品の発表及び表彰

最優秀賞作文発表者 中学校の部 立 崎 那 智 さん  
表彰式 最優秀賞表彰 作文の部1名・ポエムの部2名  
書道の部3名・絵画の部3名  
写真の部3名



## 大会式典

表彰式 社会福祉協議会関係表彰 表彰の部51名・8団体  
感謝の部2団体・2名  
共同募金委員会関係表彰 個人の部5名・団体の部8団体・町内会  
の部1町内会

## (9) あんしんネットワーク構成員の集い事業

本会実施の各種福祉サービス事業の円滑な運営及び新しい制度の周知や協力員等関係者間のふれあいと連携強化を図る『あんしんネットワーク構成員の集い』(平成元年度から継続実施)を開催した。なお、安心電話設置者へ対しては、定期的に安否・健康状態等の状況把握のため、ふれあい相談員によるふれあい電話サービスを実施している。

### ①あんしんネットワーク構成員の集い

期 日 平成30年3月9日(金)  
会 場 サン・ロイヤルとわだ  
参 加 者 67名  
講 話 「いつかは自分も支えられる側に  
一本松いきいきサロン」  
講 師 一本松いきいきサロン 野 崎 さち子 氏  
事業説明 市社協在宅福祉サービスの紹介  
アトラクション



### 3 人づくりの推進

地域で福祉を支える人づくりを目指し、地域福祉活動をより一層推進するため、豊かな知識と経験を持った人材や福祉・ボランティアに関心のある人材を活用し、地域福祉を担う人材の確保に努めるため、次の事業を実施した。

#### (1) 福祉教育推進事業

地域や企業・学校等からの社会福祉やボランティア活動に関する理解を深めたいという要望に対し、講話や福祉疑似体験をとおり啓蒙啓発を図った。なお、この活動の際は、本会で養成した福祉教育インストラクターが出向き活動している。

〔推進状況〕

小中高校の依頼 28件	活動インストラクター数
受講した児童生徒数 全1,090名	延べ207名

#### (2) ほんわかハート展事業

小・中・高校生を対象に、社会福祉についての理解と関心を高めることを目的に、『ほんわかハート展』の名称により、作文、絵画、ポエム、写真、書道を募集し、全26校より624点の作品が寄せられた。各部門の最優秀賞受賞者は、第13回十和田市社会福祉大会で表彰を行った。「作文」については、同大会席上で発表し、「絵画」「ポエム」「写真」「書道」については、イオンスーパーセンター十和田店に展示公開した。また、作品集を作成し参加者及び各学校に配付した。

募集期間 平成29年6月～8月下旬

応募総数 624点

入選者 176名



〔作文部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	3作品	1名	2名	0名	0名
小学校高学年の部	3作品	0名	2名	0名	0名
中学校の部	32作品	1名	3名	5名	5名
高等学校の部	0作品	0名	0名	0名	0名

〔絵画部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	33作品	1名	3名	5名	5名
小学校高学年の部	19作品	1名	2名	5名	5名
中学校の部	10作品	1名	1名	3名	5名
高等学校の部	0作品	0名	0名	0名	0名

## 〔ポエム部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	20作品	1名	3名	5名	5名
小学校高学年の部	26作品	1名	3名	5名	5名
中 学 校 の 部	1作品	0名	0名	1名	0名
高 等 学 校 の 部	0作品	0名	0名	0名	0名

## 〔写真部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	17作品	1名	2名	5名	5名
小学校高学年の部	18作品	1名	2名	5名	4名
中 学 校 の 部	2作品	0名	1名	1名	0名
高 等 学 校 の 部	9作品	1名	1名	3名	4名

## 〔書道部門〕

区 分	応募総数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学校低学年の部	149作品	1名	3名	5名	5名
小学校高学年の部	246作品	1名	3名	5名	5名
中 学 校 の 部	24作品	1名	3名	5名	5名
高 等 学 校 の 部	12作品	1名	3名	5名	3名

## (3) 中学生ボランティアスクール事業

中学生がボランティア活動の体験学習をとおり、人の役に立つ喜び、支え合い助け合い共に生きることの大切さを学ぶ機会となるようボランティアスクールを開催した。

期 日 平成29年8月3日(木)・4日(金)

会 場 市民交流プラザ

参加者 36名



## 〔第1日目〕

開校式

ガイダンス(スタッフ・参加者紹介・厳守事項等説明)

みんなで街へ出てみよう!(商店街で買い物をしたの障がい疑似体験)

みんなで公共機関を探検してみよう!(車イスを使用し公共機関の工夫点に気付く)

## 〔第2日目〕

施設でボランティア活動をしてみよう!(施設・保育園等のボランティア体験)

2日間の活動の振り返り・まとめ(参加生が共同して作業)

閉校式(修了証書授与)

#### (4) 中高生福祉サミット事業

中高生が社会福祉やボランティア活動の大切さについて、自由な意見交換や共同の作業をすることにより、意識の高揚と「思いやりの気持ち、助け合いの気持ち」を育む機会となるよう福祉サミットを開催した。

期 日 平成30年1月10日(水)  
会 場 市民交流プラザ、相坂上講会堂  
参加者 16名(6中学校/1高校)



#### (5) 福祉教育インストラクター養成研修事業

福祉教育やボランティアに関心・熱意のある市民を対象に、地域や学校に出向き福祉体験学習をサポートする人材育成を目的として、福祉教育インストラクター養成研修を開催した。なお、これまでに養成されたインストラクターは、全163名となった。

期 日 平成29年6月12日(月)  
平成30年2月22日(木)  
会 場 市民交流プラザ  
参加者 延べ14名



#### (6) お話しボランティア派遣事業

一人暮らし高齢者等で日中、話し相手がなく誰かと話しをしたいという希望登録者10名に対し、お話し相手となるボランティア(ボランティア登録者16名)を延べ177回派遣した。

#### (7) ボランティア・市民活動事業

ボランティア・市民活動団体の活動の活性化を図るため福祉教育を推進するとともに各種支援やボランティアセンター(災害時ボランティアセンター含む)の運営に努めた。

##### ①器具・機材の貸し出し

ボランティア活動等の便宜を図るため、器具・機材の貸し出しを行った。

[貸出状況]

機 材 名	数 量	機 材 名	数 量
点字器	70器	テント	4張
アイマスク	50個	サロン遊具セット	1セット
白杖	12本		

##### ②ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動者、受け入れ者の安心確保につながる保険加入の促進に努めた。

〔保険加入状況〕

ボランティア活動保険	Aプラン … 42件 (925名)
全 53件	Bプラン … 9件 (61名)
全 998名	天災Aプラン… 1件 (11名)
	天災Bプラン… 1件 (1名)
ボランティア行事用保険	A1プラン … 32件 (1,711名)
全 39件	A2プラン … 2件 (57名)
全 1,900名	B1プラン … 3件 (87名)
	B2プラン … 1件 (41名)
	B3プラン … 1件 (4名)
	Cプラン … 1件
ふれあいサロン傷害補償	Aプラン … 8件 (1,547名)
全 9件	Bプラン … 1件 (144名)
全 1,691名	

〔保険給付状況〕

傷害保険 0件

③ボランティア保険加入者への助成

多くのボランティア活動者が、無理なく保険加入できるよう掛け金（保険料）の一部助成を行った。

〔助成状況〕

全664名 (27団体660名 ・ 個人4名)

④ボランティア活動に関する登録斡旋と連絡調整

ボランティア活動の推進を図るため、登録斡旋を促進するとともに、ボランティアを「お願いしたいという依頼」、「活動したいという希望」、それぞれの連絡調整を行った。

〔ボランティアの登録状況〕

・団体 50団体（登録者数 3,641名） ・個人 106名

〔ボランティアの斡旋状況〕

・依頼件数 94件（施設等） ・依頼人数 357名  
 ・斡旋件数 82件 ・斡旋人数 268名

〔ボランティアの斡旋事例〕

- ・「誠幸園障害者自立支援センター」より、車イス利用者の買物介助の依頼が延べ30件あり、ボランティア登録者と調整し延べ42名を斡旋した。
- ・白菊保育園、白菊かねざき保育園、第三白菊保育園、第五白菊保育園、みきの保育園、めぐみ保育園、湖楽園、JAきずな、八郷保育園より、運動会・夏祭りの運営補助の依頼が延べ13件あり、ボランティア登録団体の十和田西高校、十和田工業高校等を調整し斡旋した。

- ・「東北電力十和田営業所」より、ボランティア活動として電気設備点検をしたいので、対象世帯を紹介して欲しいという依頼があり、一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯の計16世帯を紹介した。
- ・「管工事協会」より、水道点検のボランティア活動をしたいので、対象世帯を紹介して欲しいという依頼があり、一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯の計14世帯を紹介した。

#### ⑤ボランティア活動に関する調査研究

ボランティア活動の実態把握のため、市内の「関係団体、個人に対して活動状況調査」を実施した。また、「施設にどんなボランティアが訪問しているか状況調査」を行うとともに、「施設のボランティア受入体制調査」を実施した。なお、この結果を「市内ボランティア団体・個人活動調査表」とし、問い合わせ等に対して最新の情報提供を行った。

#### ⑥災害救援ボランティアの体制整備

災害時におけるボランティア活動の円滑かつ迅速な対応を図るため、平成29年5月24日（水）市総合防災訓練で「災害ボランティア受付・派遣活動」訓練を実施した。

#### ⑦ボランティア団体育成のための助成事業の実施

ボランティア団体の育成及び活性化を図るため、本会へボランティア登録する団体・グループへ申請に基づき活動経費の助成を行った。

[助成状況]

全13団体・グループ
高齢者や児童、障がい者に関する活動 7団体・グループ 市連合婦人会／精神保健福祉ボランティア駒の会／点訳・朗読奉仕会 傾聴サロンとわだ／スマイルラボ／手話サークルおいらせ／県手話通訳問題研究会
子育て支援に関する活動 1団体・グループ 市更生保護女性会
健康づくりに関する活動 5団体・グループ フレンド五月会／街なか歌声いきいきサークル／ポラリスフラ／こころの広場ルピナス／十和田シニアパソコンクラブ

#### (8) 介護支援ボランティア事業

高齢者がボランティア活動による社会参加を通じて、介護予防・健康維持を増進するよう活動者登録のための研修会を開催した。また、活動した際に付与されるボランティアポイントを地場産商品と交換し、ボランティア活動の促進を図った。

※事業状況は、事業報告附属明細書「介護支援ボランティア事業実施状況」参照のこと。



①第1回説明研究会

期 日 平成29年5月31日(水)

会 場 市民交流プラザ

参加者 17名



②第2回説明研修会

期 日 平成29年9月22日(金)

会 場 市民交流プラザ

参加者 9名

③第3回説明研修会

期 日 平成29年11月30日(木)

会 場 市民交流プラザ

参加者 11名

## 4 協力・連携・協働の強化

### (1) 民生委員・児童委員活動との連携協働

住民が住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会づくりの実現を目指し、住民の最も身近な相談者・支援者、地域福祉の推進者である市民生委員児童委員協議会との連携を図り、相互の活動の更なる充実・強化に努めた。

※「ふれあい相談所事業」「一人暮らし高齢者ふれあい事業」参照のこと。

### (2) 地域包括支援センターとの連携協働

市地域包括支援センター運営の協力として、本会の提供する在宅福祉サービスや成年後見事業等の利用について協働連携した。なお、地域包括支援センターが窓口となる十和田市成年後見利用支援事業においては、市長申立て1件の後見人へ就任した。

※「成年後見事業」参照のこと。

### (3) 関係行政との協働連携

地域包括ケアシステムへ効果的役割を備え参画できるよう、関係行政との協働に努めた。また、高齢者や障がい者等の虐待、社会的孤立、ひきこもりやニート等の福祉課題や生活課題、ひとり親、子ども等の貧困問題へ対し、生活困窮者自立相談支援事業と協働し取り組んだ。

※「たすけあい資金貸付事業」「フードバンクシステム構築事業」参照のこと。・平成30年度より「生活支援体制整備事業」を受託。

## 5 福祉サービス利用者等の個人情報の保護

本会の把握する福祉サービス利用者等の権利利益を保護するため個人情報の有用性に配慮し、情報共有のための個人情報提供や広報活動においては、慎重かつ厳格な取扱いに努めた。

## 6 歳末たすけあい運動

歳末たすけあい募金の配分金を、低所得世帯の修学支援となるよう図書券の配付へ活用した。

※事業状況は、事業報告附属明細書「共同募金事業実施状況」参照のこと。

## 7 組織基盤の強化

社会福祉法人の責務に則り、社会福祉協議会の果たすべき役割に基づく、機能的・効果的な事務執行体制の整備と業務改善に努めた。また、財務規律の厳格化、経費縮減と自主財源確保に努め組織基盤の強化へ取り組んだ。

### (1) 事務執行における内部けん制体制

①経理規程を遵守し、現金の入出金体制の厳格化に努めた。また、各種事業ごとの現金取扱いの内部けん制マニュアルを全職員が徹底厳守した。

②監事3名により経理監査を年3回実施した。

### (2) 多様な参画による会員組織

可能な機会を通じて、地域福祉づくりの重要性を啓蒙し、会員（住民）理解に努めた。また、活動財源である「会費」の増強については、特別会員（法人会員、対前年で52法人の増）の拡大を図った。

※会費状況は、事業報告附属明細書「各種会費納入状況」参照のこと。

### (3) 役員体制の強化

理事・監事・評議員へ、会議及び研修等への参加を呼びかけ役員体制の強化に努めた。また、広報紙社協だよりを送付し、社協事業の更なる理解を図った。

### (4) 機能的・効果的な事務局組織

全職員が、人材育成基本方針に掲げる「目指すべき職員像」に努めた。また、職員は、事務局組織の向上を目指し、各種会議及び研修に積極的に参加した。

※状況は、事業報告附属明細書「各種会議開催及び参加状況」参照のこと。

### (5) 安定的・持続的な財源確保

長期安定財源として、寄附金等の積立による「福祉基金」の造成を図った。また、認知症高齢者グループホーム外部評価訪問調査、実習生受入等の業務を積極的に実施し、自主財源確保に努めた。

※事業報告附属明細書「各種会費納入状況」「各種寄附状況」「共同募金事業実施状況」参照のこと。

(6) 財務規律の強化と運営状況の公表

公益性の高い社会福祉法人として、全職員が、適正かつ公正な支出管理に努めた。また、運営状況（事業報告、計画・計算書類・定款・役員名簿・報酬規程他）に関して、広報紙社協だよりやホームページを通じて公表した。

(7) 地域福祉活動計画の進行管理

計画期間の初年度として、各種事業の課題・方向性を意識し、事業実施した。平成33年度までの計画期間中に評価指標に到達するよう、また、新規事業取組や事業廃止においても計画に合致するよう進行管理に努める。

(8) 経費の縮減と事務処理の効率化

事務局内の省エネ・エコ対策推進委員会活動等をとおして、事務処理の効率化を呼びかけ、通信費や消耗品費等の経費縮減に努めた。

(9) 事業評価の実施

全事業・業務について、担当者が自己評価を行い、次に係間において評価を実施し、問題点を話し合い、必要な見直し改善に努めた。